

INFORMATION

東京大学ファカルティ・ディベロップメント「インタラクティブ・ティーチング」フォーラム 第1回 あらためて、シラバス

日時: 3月4日(日)10時～18時
会場: 東京大学駒場Iキャンパス講堂ほか(東京都目黒区)
プログラム: セッション1「あらためて、シラバス」／セッション2「テキストシラバス改善演習」／セッション3「グラフィックシラバス作成演習」／セッション4 分科会:A「大教室でもアクティブラーニングを実現させよう」(事務局企画[大人数]), B「受講者を惹き付ける問いを作ろう——ジグソー法・ピアインストラクション」(参加者企画[少人数]), C「理解者を増やそう・職場に広めよう——「現場」への展開」(参加者企画[少人数]), D「模擬授業から授業を磨こう——『アクティブに味わう短歌』を題材に」(参加者企画[少人数])
講師: 栗田佳代子(東京大学), 佐藤浩章(大阪大学), 吉田壘(東京大学), 中村長史(東京大学)

対象: 大学教職員, 大学院生・PD, 他教育課程の教職員など
定員: 300名(先着順)
参加費: 3000円(大学院生・PDは無料)
申込・問い合わせ先: 下記サイトへ
<https://www.utokyofd.com/archives/2616/>

北海道大学 CoSTEP (科学技術コミュニケーション教育研究部門) MOOC(無料で学べるオンライン講座)「ようこそ、科学技術コミュニケーション」配信

講座配信期間: 2018年3月7日(水)～4月17日(火)(4週間)
 ※開講中はいつでも受講可能
カリキュラム:
第1週: 科学技術コミュニケーションとは
 科学技術コミュニケーションとは／科学技術コミュニケーションの歴史／科学技術コミュニケーションの現在／科学教育からみる科学技術コミュニケーション
第2週: 対話でつなぐ科学と社会

科学技術コミュニケーションとしての対話／対話の場を企画する／対話の場を創る／対話の実践を巡る対談
第3週: 文章でつなぐ科学と社会
 科学技術コミュニケーションとしてのライティング／ライティングを企画する／インタビューという実践／文章でどう科学を伝えるか
第4週: 科学と社会をつなぐ多様なメディア表現

映像というメディア／WEBというメディア／グラフィックというメディア／アートというメディア
課題内容: 毎回の授業内での確認問題(80点分)と記述式レポートの最終試験(20点分)を行う

修了条件: 得点率60%以上
申し込み方法: 下記のホームページより受講登録をする
https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga097+2018_03/about
 ※もしくは「gacco」で検索し、トップページから「ようこそ、科学技術コミュニケーション」のバナーをクリックする
問い合わせ先: 北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター(担当: 奥本・重田)
contact@open-ed.hokudai.ac.jp